

What's New?

(公財)東京市町村自治調査会は、東京都全市町村の総意によって設立され、多摩・島しょ地域における広域的課題や共通課題の調査研究、情報提供、多摩地域の広域的市民ネットワーク活動に対する支援などを行っています。

No.290

多摩地域ごみ実態調査(平成23年度統計)

自治調査会では、毎年多摩地域30市町村のごみ処理実績などをまとめ、「多摩地域ごみ実態調査」として発行しています。このたび、平成23年度統計ができあがりましてので紹介します。

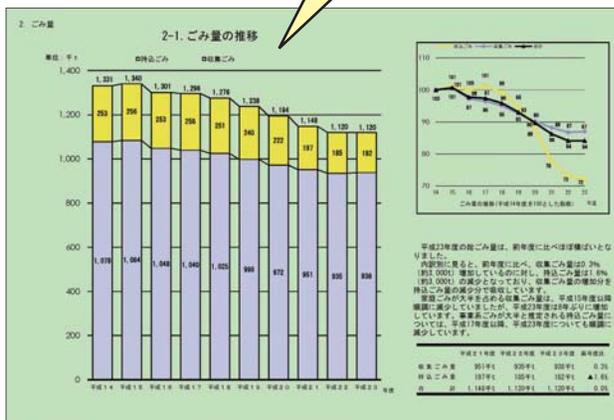
本報告書は、自治調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) からダウンロードすることができます。

なお、多摩地域ごみ実態調査の報告書イメージは以下のとおりです。

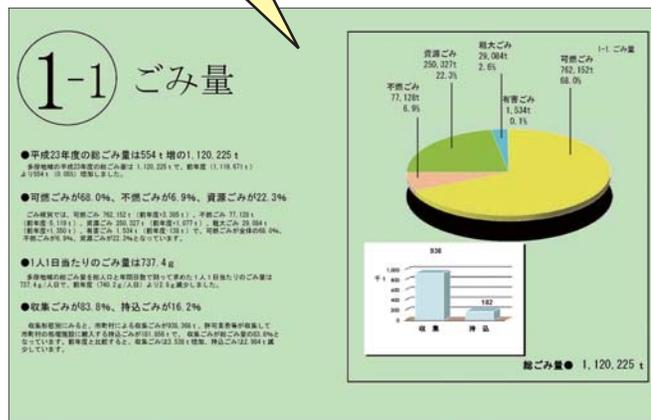


報告書イメージ

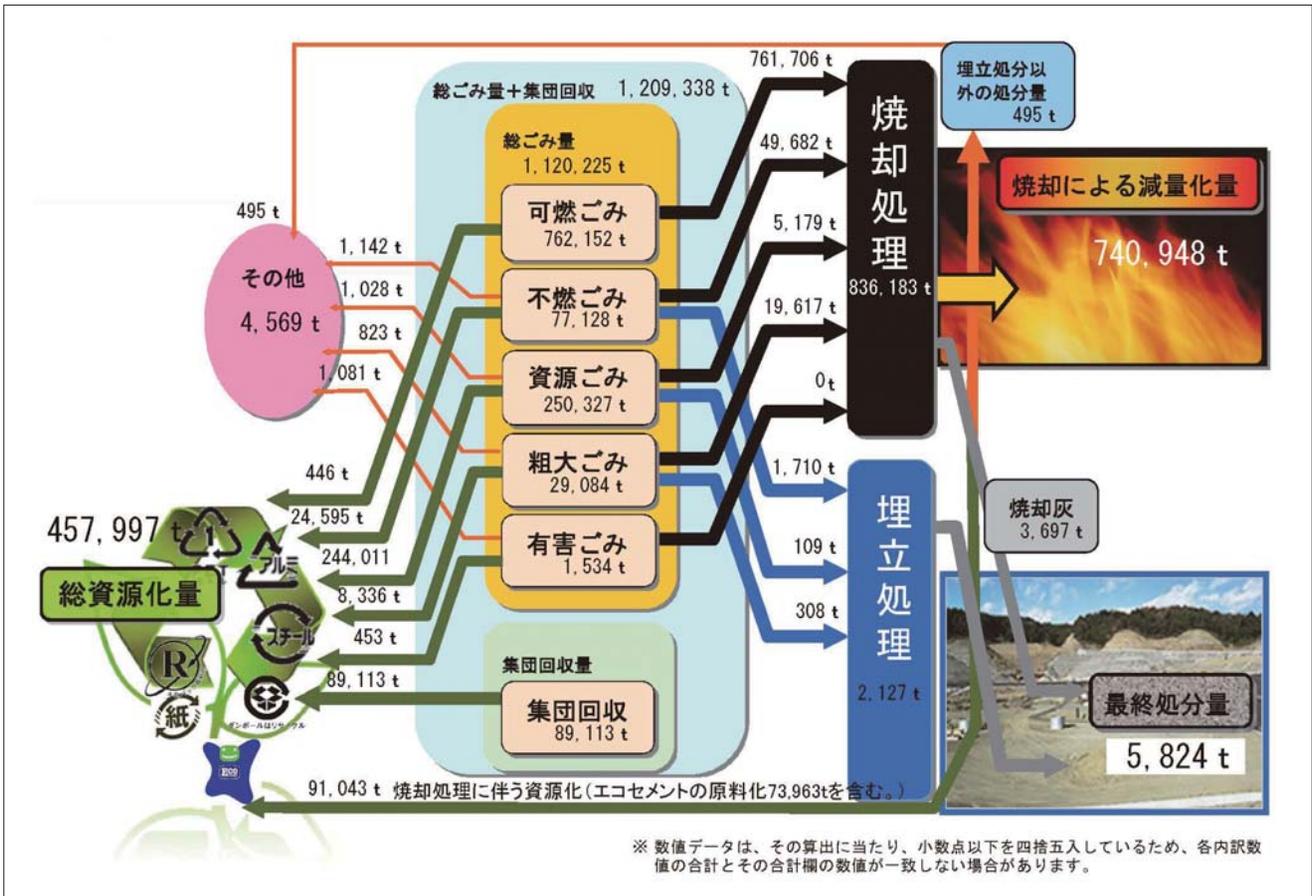
一目でわかる経年変化



一目でわかる割合



実態調査の概要



(1) ごみ量(収集ごみ量及び持込ごみ量)

平成23年度のごみ量は1,120,225 tとなり、前年度に比べ、0.05% (554 t) 増加しました。内訳では、家庭ごみが大半を占める収集ごみ量が0.4% (3,538 t) 増加し、ほとんどが事業系ごみと見られる持込ごみ量は1.6% (2,984 t) 減少しました。収集ごみ量を項目別に見ると、可燃ごみが1.0% (約6,000 t) 前年度と比べ増加、不燃ごみが5.1% (約4,000 t) 前年度と比べ減少、資源ごみが0.4% (約1,000 t) 前年度と比べ増加しました。

平成23年度の1人1日当たりのごみ量(集団回収量を含む)は796 gとなり、前年度に比べ、0.4% (3 g) 減少しました。

(2) ごみの資源化

平成23年度の^[注]総資源化率(リサイクル率)は37.9%、ごみ資源化率は32.9%となりました。前年度と比べて、総資源化率は0.3ポイント、ごみ資源化率は0.2ポイントの増加となりました。

(3) 最終処分量

最終処分量は5,824 tと前年度に比べ5.4% (335 t) 減少しました。

内訳をみると、焼却処理施設からの焼却灰が5.7% (200 t) の増加、不燃残さ(不燃ごみ等を破碎選別したもの)の埋立が20.1% (535 t) の減少となっています。

[注]ごみの資源化の状況を示す総資源化率及びごみ資源化率は、次の算式により求めています。

$$\text{※ごみ資源化率} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量}}{\text{総ごみ量}}$$

$$\text{※総資源化率(リサイクル率)} = \frac{\text{資源ごみからの資源化量} + \text{収集後資源化量} + \text{集団回収量}}{\text{総ごみ量} + \text{集団回収量}}$$

調査研究報告書の活用に関するアンケート調査結果報告

自治調査会では、調査研究活動の成果の一つとして毎年度各種の報告書を作成し、多摩・島しょ地域市町村等に配布するとともに、調査会のホームページ上(<http://www.tama-100.or.jp/>)でも広く公開しています。こうした報告書が自治体の現場でどのように活用されているのかについて把握し、今後の調査研究に役立てていくため、7月に多摩・島しょ地域の39市町村を対象としたアンケート調査を実施しました。

○ 9割以上の市町村で事業に役立てられています。

調査研究結果の活用状況について、「毎年度、事業実施の参考にしている」、「その年の調査研究テーマによって、個別の行政課題と合致する場合には参考にしている」を合わせた36団体(92.3%)が、自治調査会による調査研究結果を事業に活用していると回答しています(図1参照)。

平成23年度1年間でも、「調査研究結果を、具体的な事業実施に係る判断に直接反映させた事例があった」、「直接的に反映させた事例はなかったが、調査研究結果に基づき検討を開始することにした」、「基礎的な情報、データ等として参考にした」を合わせた24団体(61.5%。複数回答した団体は実数に換算して計上)が、調査研究結果を活用した実績があると回答しました(図2参照)。

○ 各市町村が抱える行政課題に即した報告書が、幅広く活用されています。

平成23年度における活用事例について具体的に聞いてみると、過去に発表したものも含め、各市町村が行政課題に直面した際に、当調査会の報告書が幅広く活用されていることがわかります。

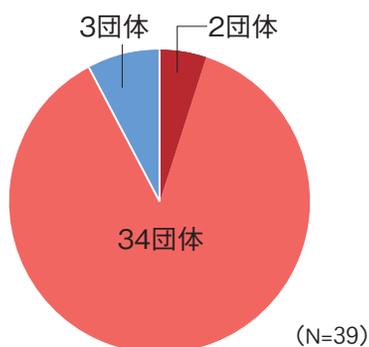
例えば、人口減少期を迎える多摩地域の姿を各種の統計データから浮き彫りにした「人口減少期における多摩地域の『縮む』未来図」(平成22年度発行)が市の基本計画の策定に際して役立てられたり、「多摩地域における庁舎機能等についての調査報告書」(平成20年度発行)が具体的に庁舎整備を検討している市で庁内検討資料として使用されたりしていました。

○ 調査会に熱い期待が寄せられています。

このほか自由意見として、「各自治体単独で行うには、費用も人材も割けないが、共通の課題であることに対して、広く調査し報告書にまとめていただいていることは、今後の行政施策の展開をする上で非常に有効だと感じている」、「自治調査会の資料は、他市との比較検討や施策展開、また議会答弁の資料として、大変有意義に活用させてもらっています」といった声もいただいています。

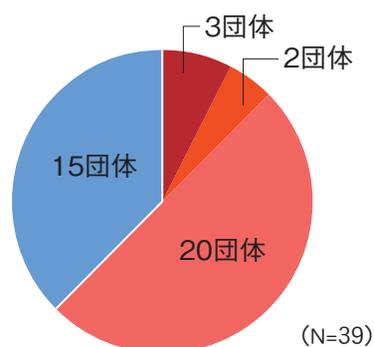
自治調査会では、今回の調査結果を踏まえつつ、引き続き市町村行政に資する調査研究に取り組み、その成果の還元を図っていきます。

(図1) 調査研究結果の活用



- 毎年度、事業実施の参考にしている
- その年の調査研究テーマによって、個別の行政課題と合致する場合には参考にしている
- 特に参考にはしていない

(図2) 平成23年度の活用事例



- 調査研究結果を、具体的な事業実施に係る判断に直接反映させた事例があった
- 直接的に反映させた事例はなかったが、調査研究結果に基づき検討を開始することにした
- 基礎的な情報、データ等として参考にした
- 特に事業の参考にした事例はなかった

※複数回答した1団体を重複して計上しているため、単純計は本文と一致しない。



オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

体験型一般公開講座 参加者募集

みどり東京・温暖化防止プロジェクトは東京都内の全62市区町村と共同して、自然環境の保護、地球温暖化防止のための取り組みを行っています。今回、本プロジェクトの一環として、体験型一般公開講座を実施します。

講座概要

森林セラピー(奥多摩町)

- ▽日程 10月18日(木)
- ▽集合 JR奥多摩駅(午前9時40分)
- ▽募集人数 25人
- ▽内容 森林セラピーの効用を実感。森林ヨガやそば打ちも体験



ガイドウォーク



弘沢の滝

森林セラピー(檜原村)

- ▽日程 ①10月26日(金) ②10月31日(水)
- ▽集合 JR武蔵五日市駅(午前9時)
- ▽募集人数 各回25人
- ▽内容 檜原を満喫する森林セラピーガイドウォーク

日の出山荘で自然体験(日の出町)

- ▽日程 11月6日(火)
- ▽集合 JR武蔵五日市駅(午前9時20分)
- ▽募集人数 25人
- ▽内容 山荘裏山で森林環境学習と竹林の間伐体験



日の出山荘



尾根緑道

フットパスガイドウォーク(町田市)

- ▽日程 11月13日(火)
- ▽集合 京王相模原線多摩境駅(午前9時)
- ▽募集人数 80人
- ▽内容 丹沢山系を眺めながら尾根緑道などを楽しむ(約9km)

郷土の恵みの森づくり体験(あきる野市)

- ▽日程 11月30日(金)
- ▽集合 JR武蔵五日市駅(午前9時)
- ▽募集人数 30人
- ▽内容 森林レンジャーと一緒に山歩きと森づくり体験



秋川渓谷

- 参加費 無料(集合場所までの交通費は各自負担)
- 対象 18歳以上の都内在住・在勤・在学者
- 応募方法 10月10日(水)必着で、往復はがきに参加者全員(はがき1枚で2名まで)の住所・氏名・年齢・電話番号・希望講座名(檜原村は参加希望日)を記入のうえ、〒163-0690新宿区西新宿1-25-1、新宿センタービルMB1、私書箱4054「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」体験型一般公開講座事務局へ
※応募者多数の場合は抽選。※往復はがき1枚で1講座の申し込み。※詳細は当選者に通知します。
- 問合せ 事務局 ☎03(6844)6590
ホームページ http://www.tobuttravel.co.jp/fixed_page/taiken
オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」
主催:特別区長会・東京都市長会・東京都町村会
企画運営:公益財団法人特別区協議会・公益財団法人東京市町村自治調査会

(公財)東京市町村自治調査会

平成25年度 広域的市民ネットワーク活動等事業の助成団体募集

子育て・高齢者支援



環境活動



生涯学習



芸術文化



スポーツ

現在、市民活動は環境、福祉、まちづくり、生涯学習、国際交流、芸術文化、スポーツなどさまざまな分野・テーマに及んでいます。

特に子育て・高齢者・障がい者支援、防犯・防災活動などは、より市民の力が必要とされています。自治調査会では、多摩地域を先導するまちづくり運動として、市町村のワクを越えて行われる市民活動がより拡大し、充実したものとなるために支援をしております。日頃の皆さんの広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。

事前相談
(新規団体対象)



助成申請
(新規・継続団体)

今回初めて助成を申請する団体、従来と異なる事業を申請する団体は、『事前相談』が必要です。
(土・日曜日、祝日を除く。事前に要電話予約)

団体の活動実績、予算・決算、希望する事業の内容についてお話を伺います。
お早めにご連絡ください。

期間:平成24年10月25日(木)~11月9日(金)

申請書類、添付書類をそろえて、郵送してください。

期間 今年度までに助成を受けていた団体 :平成24年10月19日(金)~11月15日(木)
今回初めて助成を申請する団体 :平成24年10月25日(木)~12月5日(水)

ヒアリング

申請内容について、ヒアリングを行います。なお、ヒアリングが不要となる場合もあります。

<書類等提出先、問い合わせ先、相談場所>

書類等提出先、問い合わせ先

(公益財団法人東京市町村自治調査会 事業部企画課)

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4階 TEL 042(382)7781 FAX 042(384)6057

ヒアリング・相談場所

(公益財団法人東京市町村自治調査会 多摩交流センター)

〒183-0056 東京都府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階 TEL 042(335)0100

(公財)東京市町村自治調査会 協賛事業

愛らんどリーグ2012が開催されました



平成24年7月27日(金)から30日(月)までの4日間、愛らんどリーグ2012が、大島町で開催されました。都内島しょ全9町村11島12チームの子どもたちが、「サッカー大会」や「島じまん発表会」に元気よく参加しました。

この愛らんどリーグは、伊豆諸島・小笠原諸島の子どもたちが一堂に会し、サッカー大会を中心として、お互いの理解と親睦を深め合うことを目的に1994年から毎年開催されているもので、今年で19回目を迎えました。



島じまん発表会の様子

初日は波浮港地域センターで、翌日のサッカー大会予選リーグの組み合わせ抽選や、島じまん発表会が行われました。島じまん発表会では、各島の子どもたちによる伝統芸能やユニークな歌・踊りの披露、島の特徴の紹介など、どのチームも思い思いに趣向を凝らした演出があり、大いに盛り上がりました。審査の結果、島の昔ながらの伝統的な言葉をクイズ形式で披露するなど、島の伝統文化を楽しくアピールした、利島FC T SUBAKID' Sが優勝しました。

2日目からはサッカー大会が開催されました。開会式で父島キッカーズのキャプテンから選手宣誓があり、予選リーグが始まりました。試合はフットサル形式で実施され、強い日差しの中、一生懸命にボールを追い、ゴールに向う子どもたちの真剣なプレーに保護者やコーチ、来賓者の応援にも力が入っていました。子どもたちは最後まであきらめずに頑張ってグラウンドを走り回っていました。女子の参加も多く、将来のなでしこジャパンを髣髴とさせるようなシュートに会場も大いに盛り上がりました。

また、JリーグのFC東京コーチによるサッカー教室もあり、Jリーグチームのコーチから直接指導を受けられる機会とあって、子どもたちには夢のような時間であったようで、目をきらきらさせながらコーチの指導を受けている姿が印象的でした。

ヤッタゼ! 新島FC



3日目は決勝トーナメントが行われました。熱戦の結果、新島FCが見事優勝。準優勝は神津FCで、3位には大島マリンズAが入りました。

真夏の空の下、家族やコーチの声援を受けながらチームメイトと一緒に懸命にグラウンドを走り回ったことは、良い思い出になったのではないかと思います。各チームのコーチや保護者をはじめ、来賓の町村長の方々も試合中の子どもたちに大声で声援を送り、試合終了後には頑張った子どもたちをねぎらう姿が見られ、家族や地域の絆を確認する良い機会であることを感じました。



サッカー大会の様子

市長会から



平成24年8月24日(金)に、市長会議が開催されました。主な内容は、下記のとおりです。

○「平成24年度東京都市長会一般会計歳入歳出補正予算」について

スポーツ祭東京2013(東京多摩国体)開催及び2020年オリンピック・パラリンピック東京招致に関する気運醸成事業に係る助成事業を行うため、平成24年度の歳入・歳出予算をそれぞれ3億3,000万円増額補正しました。

○「各種審議会委員等の推せん」について

市長が委員等に委嘱されている3団体から、任期満了に伴う新たな委員等の推せん依頼があり、それぞれ3市長を推せんすることに決定しました。

今年のお秋はデツカイ
3億9千万円!

オータム史上最高額です!!

1等・前後賞合わせて
3億9千万円

好評
発売中

2012年新市町村振興宝くじ
オータムジャンボ宝くじ
売り切れしだい発売終了!

●1等・前後賞合わせて3億9,000万円(1等3億3,000万円/前後賞各3,000万円)
●発売期間 9月24日(月)~10月12日(金) ●抽せん日 10月19日(金)

公益財団法人 東京都区市町村振興協会
この宝くじの収益金は区市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策などの地域住民の福祉向上のために使われます。

とっておき特産物

第17回 日野市

今年の夏の恵みをお試してください!

ブルーベリーエール

ブルーベリー発泡酒をグラスに注ぐと、まず淡い藤色の泡が目を引きまします。泡が落ち着いた後、鮮やかなブルーベリーの紫色が残り、口元に運ぶとほのかにブルーベリーの香りが漂います。今までの発泡酒の常識を覆す新しいタイプのフルーツ発泡酒です。日野市内のブルーベリー生産農家が丹精込めて栽培したブルーベリーを使い、無濾過でビール酵母が生きています。



もぎ取りもできます。秋をしっかり味わって!

りんご

日野市では、多摩市と接する万蔵院台の里山の農地で、りんご栽培が行われています。10月には「陽光」、11月には「富士」などの人気種が実りの時期を迎えます。収穫期が近づくと、赤く熟したりんごを目当てに多くの問い合わせが寄せられます。

この時期、いつもは静かな里山には、りんごのもぎ取りができる観光農園がオープンし、多くの家族連れでにぎわっています。

記事、写真提供：日野市産業振興課

☎042-585-1111(代表)

発行 (公財) 東京市町村自治調査会
 責任者 桑原正志
 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1
 東京自治会館4F
 TEL 042(382)7722・0068
 ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>